

(科目コード : 1100820061Y2)

【改訂】第30版(2013-05-07)

【科目】国語表現

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】2組 1年

【担当教員】前期:田貝 和子
後期:田貝 和子

【授業目標】

- (1) 日本語を的確に理解し、適切に表現する総合的な国語力を身につける。
- (2) 論理的文章、文学的文章を正確に読解することで、思考力を伸ばし、心情を豊かにする。
- (3) 目的に応じて効果的に表現する基本的な能力を養う。
- (4) 基本的な漢字の読み書きに習熟する。

【教育方針・授業概要】

論理的文章を教材とする授業においては、語彙・文法的事項を丁寧に確認しつつ、文章の展開に即して論旨を正確に把握し、論説内容に検討を加える。併せて、文章表現力の錬成も兼ねて「論旨の要旨」や「論説内容についてのコメント」をまとめる作業を行う。

文学的文章・韻文を教材とする授業においては、登場人物の心理を筋に即して読み取ること、あるいは凝縮された表現からイメージを膨らませること等を主眼とする。

【教科書・教材・参考書等】

教科書:『国語総合 現代文編』:三省堂

参考書:『新訂総合国語便覧』:第一学習社

参考書:『常用漢字フォルダ』:浜島書店

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

必要に応じて視聴覚教材を使用する。

【メッセージ】

1年生の国語表現では、読むことを中心に行います。正確に読解することを通じて、考える力を身につけてください。それが、自分の考えを他人に正確に伝えるための表現力につながります。

ノートを一冊用意してください。また、国語辞典も常に机の上に置き、辞書を引く習慣をつけてください。なお、提出物、授業態度に関してもしっかりチェックします。

【成績評価方法】

[前期]中間試験:40%,期末試験:40%,漢字テスト、課題提出 20%

[後期]中間試験:40%,期末試験:40%,漢字テスト、課題提出 20%

【授業計画】(国語表現)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	ガイダンス	国語表現の授業の概要を述べ、その意義と目的について説明する。		
第2回	口語文法	口語文法の基礎を身につける。	漢字テスト	
第3回~第4回	水の東西(評論1)	対比表現に着目し筆者の主張を過不足なく読み取る。	漢字テスト	
第5回~第7回	羅生門(小説1)	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	漢字テスト	
第8回	中間試験		漢字テスト	
第9回~第11回	ものごとことば(評論2)	引用事例に着目し、筆者の主張を読み取り「ことば」の本質について理解する。	漢字テスト	
第12回~第15回	鶯のうへ・死なない蛸(詩歌1)	凝縮された表現からイメージを膨らませ、作者の思いを読み取る。	漢字テスト	
第16回~第18回	余暇について(評論3)	論理展開について着目し、筆者の主張を読み取る。	漢字テスト	
第19回~第22回	短歌・俳句(詩歌2)	韻文の法則性を理解し情景や感動の中心を読み取る。	漢字テスト	
第23回	中間試験			
第24回~第27回	見る 考える(評論4)	引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	漢字テスト	
第28回~第30回	待ち伏せ(小説2)	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	漢字テスト	